

街と海の観光をシームレスに！

横浜港水陸両用バス社会実験

# 水陸両用バスのデザインが決まりました！

～この夏、社会実験を開始します～

横浜市では、「中期 4 年計画」における目標の 1 つとして「都心臨海部における回遊性の向上」を掲げています。また、「横浜港港湾計画」では「レクリエーション等活性化水域」を設定し、海洋性レクリエーション活動をはじめ、水上交通や観光船などの利用を促進することとしています。その一環として、観光名所と水辺、海をシームレスに結び、横浜の街と港の多彩な景色や、非日常的な乗車体験を楽しんでいただける水陸両用バスの社会実験をこの夏から開始します。

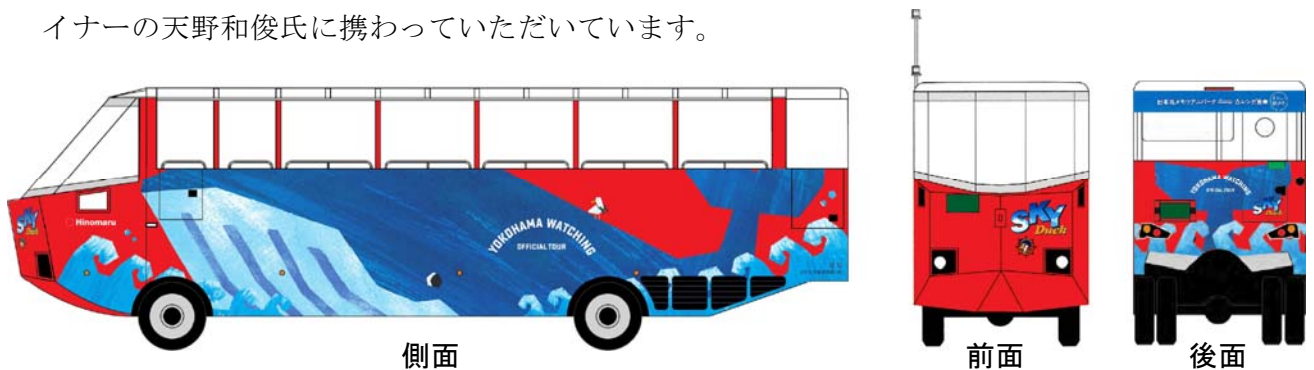
## 1 車両等のデザイン

横浜での運行のために、新たに車両を作成しています。デザインは、横浜の街にふさわしいものとなるよう、事業者と市が協議をしながら進めました。

### (1) 車両について

1 頭の“くじら”としてデザインしています。

ACY<sup>※1</sup>（アーツコミッション・ヨコハマ）のコーディネートにより、市内で活躍するデザイナーの天野和俊氏に携わっていただいています。



※1 ACY：アーツコミッション・ヨコハマ（運営：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

横浜に集うアーティストやクリエイター、NPO、市民、企業、学校などの様々な「創造の担い手」をサポートするプロジェクト。横浜でのアート活動に関する相談やコーディネーション、助成プログラム、芸術不動産（創造活動の場づくり）などを行っている。

### (2) 施設・シンボルマークについて

チケットカウンター等の施設は、景観に配慮するとともに、“くじら”のモチーフなど親しまれるデザインとします。また、チケットや広報物をはじめとした様々な場面に使用し、水陸両用バスの楽しいイメージを展開するため、シンボルマークを作成します。



チケットカウンター（イメージ）



シンボルマーク

裏面あり

## 2 実験運行の概要

(1) 運行事業者（昨年8月に公募により決定）

「～水・陸 新発見！横浜みなとまちめぐり プロジェクト～」

（構成法人：日の丸サンプズ株式会社、シティアクセス株式会社）

(2) 実験期間

平成28年7月27日（水）から平成32年3月末まで

(3) 便数・運行時間等（予定）

桜木町コース、赤レンガコース 各5便程度運行 乗車定員44名

午前10時から午後6時まで 定休日なし（天候や施設・車両整備のため運休の場合あり）

(4) 料金・乗車方法（予定）

大人3,500円（小学生以下は1,700円） 当日受付（各便先着順）

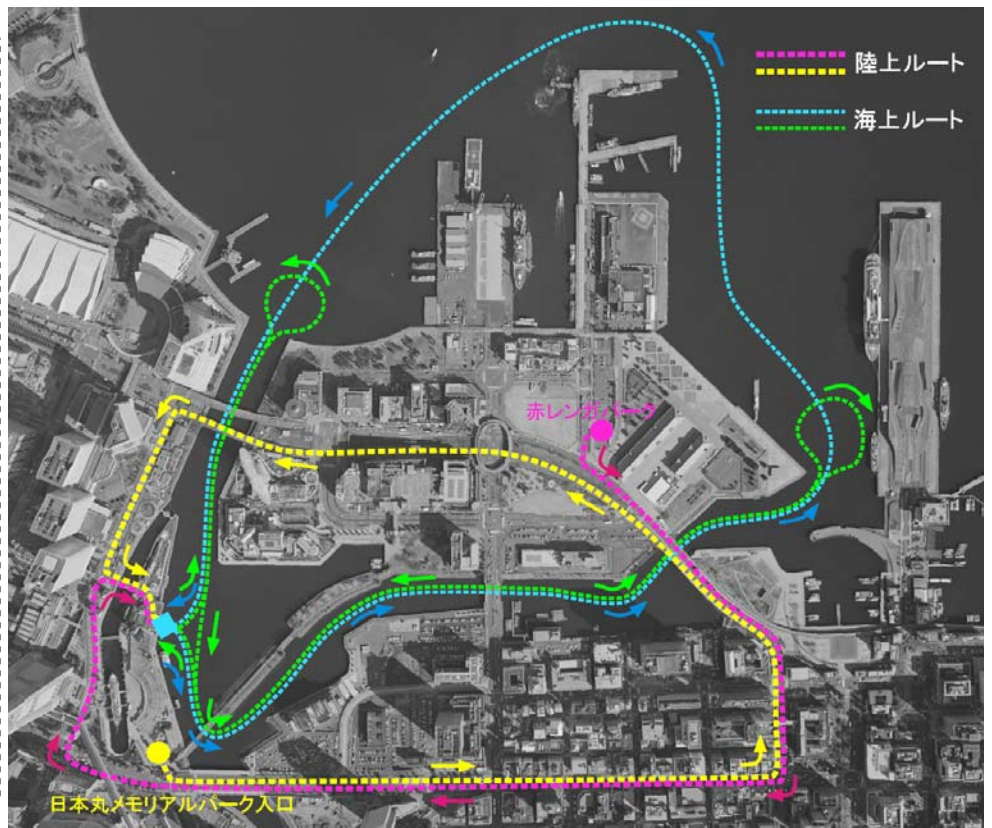
(5) 運行コース（予定）

日本丸メモリアルパーク  
又は赤レンガパークの乗  
車場からスタートする2つ  
のコースを設定。

みなとみらい地区や関  
内地区の街並みを観なが  
ら陸上を走行後、日本丸  
メモリアルパーク内のスロ  
ープから海上へ進水。

海上のルートは通常、  
パシフィコ横浜・赤レンガ  
倉庫沖まで（図中緑色）で  
すが、波・風が穏やかな時  
には、新港ふ頭を一回り  
するルート（図中青色）で  
も運行。

海上ルートを周遊後、  
陸へ上がり降車となりま  
す。（所要時間約70分）



## 3 今後のスケジュール（予定）

6月末から	水陸両用バス安全運行の現地訓練開始 日本丸メモリアルパークのスロープを中心に、海上・陸上の訓練を実施予定です
7月27日（水）	開始式典（※時間・場所等の詳細については、後日ご案内します）

※以降、内覧・試乗等の運行を行った後、市民利用をスタートします。

詳細なスケジュールについては、現在、関係者等と調整中のため、決まり次第改めてご案内します。

お問合せ先	
港湾局賑わい振興課担当課長	笹 健二 Tel 045-671-2885